



< テルマ・佑佳・清水・白石 >

国、地域 : ブラジル・サンパウロ
年 齢 : 52歳
現 職 : 日本食レストラン「藍染」
オーナー兼シェフ
日本食普及の親善大使

○ ブラジルにおける日本食文化の普及・促進

- ・ 2007年から日本食レストラン「藍染」を経営する傍ら、ブラジルにおいて日本食普及に貢献。
- ・ メディア等を通じた日本食の発信、日本政府等が実施するイベントへの協力を行うほか、日本食を通じた慈善活動にも尽力。
- ・ 2018年 在サンパウロ日本国総領事館在外公館長表彰受賞。
- ・ 2019年 「藍染 ジャパン・ハウス店」をジャパン・ハウス サンパウロ構内にオープン。
- ・ 2019年 日本食普及の親善大使に就任。
- ・ 2021年 「ラテンアメリカのベストレストラン50」の、エストレージャ・ダム・シェフズチョイス賞にノミネート。

2007年に小池信也シェフ（日本食普及の親善大使（2016年2月任命））と共同でサンパウロ市内に日本食レストラン「藍染」を開店し、2011年からオーナー兼シェフとして従事。

「藍染」を経営する傍ら、メディア等を通じた日本食の発信を積極的に行っており、ブラジル国内の多くのメディアに寄稿・出演。からし、わさび、酒、鰹節、醤油、酢、味噌等の日本の移民がブラジルに持ち込んだ素材について説明する等、日本食普及活動に大きく貢献している。

また、日本食の基本であるだしの取り方についての講演、まだ知られていない日本産食材の調理方法の紹介等、日本政府等が実施するイベントへの協力も積極的に行い、日本食や日本産食材の理解促進に努めている。

2020年4月からは新型コロナウイルスの影響を受け困窮するサンパウロ市内の路上生活者等に対し、約20万食を超える弁当と約6万個の基本食糧セットを配布する等、日本食を通じた慈善活動にも力を入れている。